

平成26年度 決算額

会計別	歳入	前年度比	歳出	前年度比
一般会計	603億5,403万円	4.7%増	584億7,242万円	4.6%増
特別会計	499億7,312万円	3.5%増	503億6,974万円	5.1%増
国民健康保険	177億7,022万円	0.5%増	175億2,456万円	0.6%増
土地区画整理事業	40億1,094万円	17.3%増	36億7,780万円	14.8%増
下水道事業	49億213万円	1.5%増	48億188万円	1.9%増
介護保険	114億5,750万円	4.7%増	114億3,536万円	6.5%増
後期高齢者医療	35億5,749万円	7.1%増	34億6,828万円	4.6%増
市立病院事業	82億7,483万円	2.3%増	94億6,186万円	10.6%増
合計	1,103億2,715万円	4.1%増	1,088億4,216万円	4.8%増

(注)金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。

予算は正しく使われたか
成果を上げられたのか

決算委員会の審査から、主な質疑

一般会計



歳入全般

質疑

- ① 自衛官募集事務費の内容と、この事務の今後は？
- ② 学童クラブ費で不納欠損になった家庭の状況は？
- ③ 公共施設の使用方法によって主管課が異なることを市民は周知されているか？
- ④ ひるさと納税制度の次年度以降の考え方を問う。
- ⑤ 被災地派遣職員の現況と職員からの報告を問う。
- ⑥ 増税によって、地方消費税交付金の社会保障部分への影響はあったのか？
- ⑦ 開発行為に伴う一般寄付金について問う。

議会費・総務費

質疑

- ① 選挙時における雪に対する課題と改善策を問う。
- ② 普通救命講習の職員の普及率について、3年ごとのローテーションで100%更新していくのか？
- ③ 市有財産の公共用地活用について基本的な考えは？
- ④ 広報アドバイザーの活躍をどの分野に広げるのか？
- ⑤ 市として、子どもの安全・安心を守っていけるか？
- ⑥ 収納事務で、差し押さえをする前に納税者の納付能力判定、財産の有無を把握しているか？

民生費

質疑

- ① おこうじま保育園の施設整備補助金について、補助金を交付するルールに照らして市の見解を問う。
- ② 地域コミュニティの重要性について問う。
- ③ 市立保育園経費で、ゼロ歳児枠を減らして1歳児枠を増やしたが、その結果はどのようになったか？
- ④ 「こころの体温計」を導入している市の状況は？
- ⑤ 保育士の正規職員の欠員部分をどのようにカバーしているのか？
- ⑥ 臨時福祉給付金の実績と今後の方向性を問う。

衛生費・労働費

質疑

- ① 火葬場の修繕内容と今後の修繕計画について問う。
- ② ごみ処理施設延命化経費の今後の見通しを問う。
- ③ ごみ処理施設の広域化と、浅川以南の住民との合意について問う。
- ④ 健康サポートルーム事業について、当初の目的は達成出来ているか？
- ⑤ ごみ処理施設建設準備経費について、短期間での基本設計の進め方をどのように捉えているか問う。
- ⑥ 周辺環境整備費の使い道について問う。

農業費・商工費・土木費・消防費

質疑

- ① 危険性のある公園遊具の修繕に臨機応変な対応をしているか？
- ② 防災マップ・洪水ハザードマップの配布状況と、この事業の目的について問う。
- ③ 街路灯の設置について市の見解を問う。
- ④ おもてなしロボットプロジェクトの見えない部分の成果は？
- ⑤ 営農意識を持ってもらうための、市の取り組みは？
- ⑥ 東京五輪を踏まえ、海外を含む誘客について問う。

教育費・公債費・諸支出金・予備費

質疑

- ① 不登校児が増えていることを、どのように捉えているか？また、その対応について問う。
- ② 未改修のトイレについて、今後の改修計画を問う。
- ③ 新入の教職員に対して、食物アレルギーやAEDについての研修を行っているか？
- ④ 多摩・島しょスポーツ振興経費について、これまでの3年間の取り組みと成果を問う。
- ⑤ 高校生奨学金の応募状況と決定率などを問う。

総括質疑

- ① 子どもの貧困対策について、どのような視点で実態を把握し、どのように具体化していくのか？
- ② 2020プランの中間検証について、今後の展開は？
- ③ 地区センターの今後について問う。
- ④ 土砂災害・洪水に対する備え、自助・共助の問題をどのように考えるか？
- ⑤ 予備費の流用が多くなっているようだが、やむを得ないものか？

反対

この決算を認められない理由は3つあります。第一に、アベノミクス・消費増税で苦しさを増す市民の暮らしに向き合おうとしないことです。保育園や介護施設の増設、市内業者の仕事を増やすこと、安価な住宅を供給するなどが求められているのに、本来すべき仕事をせざる、経費を浮かして将来に備えるのは、自治体の本旨を投げ捨てる行為です。第二に、法令順守姿勢の欠如です。むこう

市民の信頼を失う
法令順守姿勢の欠如

日本共産党日野市議団

み処理広域化では、監査委員が委託契約に關して手続きが違法であったと指摘しているのです。第三に、住民合意・民主主義を無視した行政運営です。ごみ処理広域化問題で、浅川

賛成

決算の認定

賛成・反対の理由

平成26年度一般会計決算に対する、各会派の総括意見の要旨です。なお、無会派議員2人の賛否表明は、賛成1人、反対1人でした。

めりはりの利いた政策判断で、課題に対応

公明党

平成26年度予算は、大坪カラーの見える、めりはりの利いたものになりました。これもあれもではなく、これがあるべきです。②歳出では、震災被災地への市職員派遣の継続「くエリアマネジメント」が求められます。歩きたくなるまちづくりは、その事業の意義や効果を

①トとなる市道の改良工事で安全性が向上したことを評価します。⑥未曾有の雪害に遭った農業者への迅速な予算支出を高く評価します。⑦新選組WAO Nポイ

賛成

平成26年度は、大坪市長による初の予算編成でした。日野のあるべき姿を明確に描き、可能性に満ちた未来を拓いていく決意を、主要3戦略に基づく施策の推進で顕著にさせました。これを評価し、

戦略を推進させ、あるべき姿が顕著に

自由民主党日野市議団

値を実感出来るような取り組みに期待します。⑤ごみ減量に關して手続きが違法であったと指摘しているのです。第三に、住民合意・民主主義を無視した行政運営です。ごみ処理

④日野の歴史再考と文化の掘り起こし事業が展開されました。スポーツ推進機運の醸成も図られつつある。オリンピックの安全対策も着実に実行されています。引き続き、子育ての価値を高めるために、

賛成

当会派は、市長が掲げた主要3戦略の実現に向けた初年度決算を適正であると認めます。行政課題を解決していくため、

まちの将来像を共有し
質の高い行政の実現を

民主市民クラブ

総点検し、歳出改革をゆるぎなく進めてください。直面する課題に使命と責務を持つて市民に信頼される行政を目指す。行政課題を解決していくため、

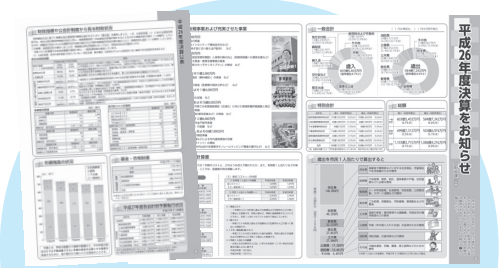
⑤すべての政策で掲げた数値目標は、手間を惜しまず、成果にこだわります。主要3戦略で最も重視される政策指標は明確に打ち出すことが出来ていません。例えば、週1回のスポーツ実施率70%など、

質疑・意見の詳細と
答弁は、会議録で。



質疑・意見の詳細と答弁の内容は、会議録の閲覧や会議録検索システムでご確認ください。→別掲記事(4面)参照

解説は『広報ひの』に



平成26年度決算内容の解説は、「広報ひの11月1日号」の2ページから4ページに掲載されています。併せて、ご参照ください。